

事務事業名	交付金活用通学路道路整備事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課	
総 計 画 体 系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G	公共土木G	課長名	渡部 克彦
	施策名	(12)生活道路の整備	担当者名	松村 直樹	電話番号	0854-40-1063 (内線) 2471
	目的 的 対 象	A)市民(道路利用者) B)生活 道路(市道)	意 図	市内を安全に移動できる。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 4 0 0 2 業名 項 目 中事業 道路施設管理事業 1 0 1 0 1 4 業名 交付金活用通学路道路整備 事業
	基本事業名	(036)生活道路の維持管理	意 図	安全に移動できるように道路を維持管理し、情 報を発信する。		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 29 年度 ~ )
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・道路維持管理計画に基づき、防災・安全社会資本整備交付金を活用し、歩道整備を実施する。 ・通学路安全プログラムに基づき、計画的な整備及び修繕等を実施する。

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動	30年度実績(30年度に行った主な活動)	元年度計画(元年度に計画する主な活動)			
		・新市里方線歩道整備工事 ・西日登寺領線歩道整備工事 ・三刀屋南側線歩道整備工事 ・小川上芦原線歩道整備工事 ・小川上芦原線歩道整備工事(その2)	・道路ストック点検結果に基づき、道路維持管理計画を見直し、計画的な歩道整備を実施する。 ・通学路安全プログラムに基づき、計画的な整備及び修繕等を実施する。			
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	ア 契約件数	件		5	7	2
	イ 修繕箇所(工区)数	箇所		4	4	2
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
	①生活道路の利用者 ②修繕が必要な生活道路等	ア 人口【国勢調査(推計)】	人		37,794	37,012	37,496	
		イ 雲南市市道延長	km			1,112	1,112	1,163
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)		
①市内を安全で迅速に移動できるようにする。 ②修繕(補修)等を実施する。	ア 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%		69.2	59.5	60.0		
	イ 生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%		53.3	70.5	70.0		
	ウ 施工箇所	箇所			4	4	2	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
【委託料】三刀屋南側線測量設計業務 3,592千円	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	22,447	24,860	7,300
【工事請負費】		県支出金	千円			
新市里方線歩道整備工事 23,406千円		地方債	千円	13,500	14,700	4,400
西日登寺領線歩道整備工事 4,980千円		その他	千円			
小川上芦原線歩道整備工事 1,593千円		一般財源	千円	857	1,091	500
小川上芦原線歩道整備工事(その2) 1,352千円	事業費計(A)	千円	36,804	40,651	12,200	
計4路線 5箇所 31,331千円	人 件 費	正規職員従事人数	人	3	1	
【補償費】新市里方線支障移転補償 5,057千円		延べ業務時間	時間	300	300	
【土地購入費】西日登寺領線用地費 21千円		人件費計(B)	千円	1,223	1,300	
需用費650千円	トータルコスト(A)+(B)	千円		38,027	41,951	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
道路維持は、全ての改善要望に対して充分応えることが出来ない。安全確保の必要性が高いものから順に補修、修繕作業を行っている。道路維持修繕は地域要望の中で最も多いものとなっている。また、多くの構造物が更新時期となっており、今後、更に事業費が必要となっている。	・道路ストック点検を実施し、防災・安全社会資本整備交付金を活用することで、修繕予算を確保し、計画的な修繕の早期対応を目指している。 ・平成24年度に道路維持管理計画を策定し、大規模修繕対応を別事業とした。	・市民から危険箇所等多数の改善要望。 ・議会から維持修繕の重要性和着実な実施の指摘がある。

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている    * 余地がある場合 →	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である    * 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である    * 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない    理由	・雲南市通学路安全プログラムに基づき、危険箇所の抽出及び合同点検により、緊急性の高い箇所から事業実施している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有    理由	・廃止すれば、通学路の安全性向上の進捗が遅れる。 ・市民からの修繕要望に応えられなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある    *ある場合 → (具体的な手段や類似事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない    理由	・雲南市通学路安全プログラムに基づき、危険箇所の抽出及び合同点検により、緊急性の高い箇所から事業実施しているため、類似事業の統廃合はない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない    理由	道路の規格・構造は一定の基準に基づいて設計しており、工法についても比較検討の上採用している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない    理由	用地買収や工事費積算は守秘義務があり困難である。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である    理由	道路は不特性多数の市民が利用する施設であり、利用者を特定した受益負担は求められないことから公平・公正である。

評価 の 総括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・本事業は市民、議会及び職員にも事業効果について理解を得られていると考えている。 ・対応できなかった修繕を計画的に行うことができ、道路利用者の安全が確保できる。

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果																					
雲南市通学路安全プログラムに基づき、危険箇所の抽出及び合同点検により、緊急性の高い箇所から事業実施している。今後も通学路に関する危険箇所は、増大する傾向にある。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">           廃止・休止の場合は記入不要。            コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。         </p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		